

令和6年度ミニ展示

京蒔絵の美

— 下出祐太郎の継承と挑戦 —

入場無料

2024

9月18日(水)~10月10日(木)

京都産業大学ギャラリー

京都市下京区中堂寺命婦町1-10 むすびわざ館2階

月・火・木~土 10:00~16:30 水 13:00~16:30

日曜・祝日は休館

※いずれも入館受付は16:00まで。

※10月5日(土)はギャラリートーク開催につき、一般観覧は13:00で終了します(入館受付は12:30まで)。

※駐車場・駐輪場はございません。ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。

主催：京都産業大学ギャラリー

共催：下出蒔絵司所、京都産業大学学芸員課程

講演会 「蒔絵が紐解く日本文化の神髄」
9月28日(土) 13:30~15:00(開場13:00)

ギャラリートーク 「蒔絵と螺鈿の多彩な表現」
10月5日(土) 13:30~15:00(開場13:00)

[講師] 下出 祐太郎氏(京都産業大学名誉教授・下出蒔絵司所三代目)
※詳しくは裏面をご確認ください。

京蒔絵の美 一下出祐太郎の継承と挑戦

漆で絵を描き、その上に金粉や銀粉など、様々な金属粉を蒔きつけ加工し模様を浮かせ上らせる蒔絵。中でも「京蒔絵」は、8世紀以降、都となったここ京都において、多くの職人たちの手で洗練され、繊細で優美な、日本を代表する伝統工芸となりました。

下出祐太郎氏は、明治45年(1912)に開業した下出蒔絵司所三代目として様々な蒔絵作品を世に出すと同時に、京都産業大学文化学部の教授職を務めてこられました。本展示では、下出祐太郎氏が手掛けた蒔絵作品を通して、受け継がれる京蒔絵の美と技能の粋をご紹介します。



漆芸屏風《望郷》



宝相華蒔絵七寸切手盆



下出 祐太郎 (しもで ゆうたろう)

京都市出身。平成7年(1995)に下出蒔絵司所三代目を継承し、即位礼や大嘗祭の神祇調度蒔絵に携わるなど、神仏具蒔絵の新調・修復を行う。また、高台寺蒔絵の材料・技法の研究と復元制作、京都迎賓館の調度品の制作など様々な場で活躍している。平成27年(2015)より京都産業大学文化学部に奉職。令和3年(2021)卓越した技能者(現代の名工)受章、令和5年(2023)春の叙勲瑞宝单光章受章。令和5年度京都市芸術振興賞受賞。

関連イベント

いずれも参加費無料

講演会

「蒔絵が紐解く日本文化の神髄」

9月28日(土) 13:30~15:00(開場13:00)

[講師] 下出祐太郎氏

[場所] むすびわざ館ホール(むすびわざ館2階)

[定員] 200名(事前申込制) ※オンライン同時配信あり(事前申込制・定員90名)

ギャラリートーク

「蒔絵と螺鈿の多彩な表現」

10月5日(土) 13:30~15:00(開場13:00)

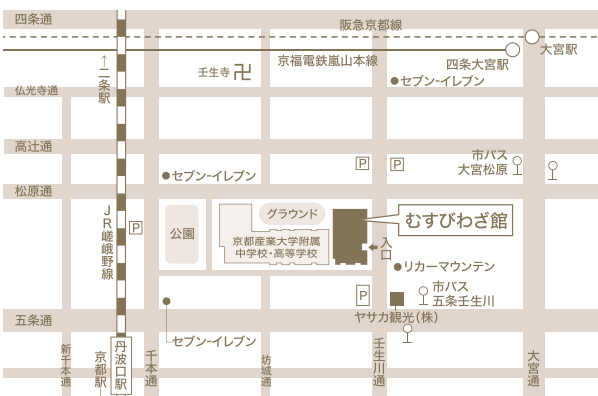
[講師] 下出祐太郎氏

[場所] 京都産業大学ギャラリー展示室(むすびわざ館2階)

[定員] 20名(事前申込制)

[申込受付開始] 2024年9月3日(火) 10:00 ~ [申込先] <https://www.kyoto-su.ac.jp/facilities/musubiwaza/gallery/>
※京都産業大学ギャラリー公式Webサイトのインターネット申し込みフォームよりお申し込みください。申し込み期間に関わらず、定員に達した時点で受付を終了します。申し込みの際にご提供いただきました個人情報は、講演会・ギャラリートーク以外の目的では使用いたしません。

同時開催 学芸員実習生展「暮らしのなかのうるし」



【交通案内】

◎JR 丹波口駅より 徒歩約7分 ◎阪急 大宮駅より 徒歩約11分

◎京福 四条大宮駅より 徒歩約11分

※駐車場・駐輪場はございませんので、ご来館の際には公共交通機関をご利用ください。

【次回予告】

特別展「源氏物語の世界—よむ・みる・あそぶ—」

2024年10月21日(月)~11月30日(土)

【問合せ先】

京都産業大学むすびわざ館事務室(平日9:00~16:30)

[TEL] 075-277-0254 [FAX] 075-277-1699

[e-mail] gallery-office@star.kyoto-su.ac.jp

